

北海道中小企業家同友会
第24回 全道経営者“ 共育 ”研究集会

IN TOKKACHI

絶えざる挑戦が道を拓く！

地域の未来を

私たちの手で

日 程 / 10月21日(金)13時45分～
22日(土)12時

会 場 / とかちプラザ

帯広市西4条南13丁目 ☎0155-22-7890

懇親会 / ホテル ノースランド帯広

帯広市西2条南13丁目 ☎0155-24-1234

参加費 / 13,000円(懇親会費込み、宿泊代は含みません)

主 催 : 北海道中小企業家同友会

〒060-0004 札幌市中央区北4条西16丁目 第一ビル7階 ☎ 011-611-3411
FAX 011-611-9573 E-mail information@hokkaido.doyu.jp

設 営 : 北海道中小企業家同友会 帯広支部

〒080-0802 帯広市東2条南4丁目 ☎ 0155-22-3611
FAX 0155-22-3612 E-mail doyuikai@netbeet.ne.jp

第24回

全道経営者“共育”研究集会

記念講演

阪神大震災を乗り越え、世界一のジャバラメーカーをめざす

日本ジャバラ工業(株)社長 田中 信吾 氏

日本ジャバラ工業は日本で最初のジャバラ専門メーカーとしてスタートし、豊富なノウハウと蓄積した高い技術力を基に、伸縮防送の新しい可能性を開拓した数多くの製品を製作している。毎年、「経営発展計画書」に基づいた事業計画発表会を開催し、田中社長より経営理念、ビジョン、年度計画が明確に示される。阪神大震災を乗り越え、世界一のジャバラメーカーを目指し続ける思いをお聞かせします。2000年「ISO9001」取得、2004年「ひょうご経営革新賞」大賞受賞、2005年関西IT活用企業百選「優秀賞」受賞、田中氏は1946年熊本県生まれ、98年より兵庫同友会代表理事。

日本ジャバラ工業(株)
社長 田中 信吾 氏

会社概要

【設立】1960年 【資本金】4,000万円
【従業員数】97名 【業種】ジャバラ、
テレスコパー、ワイパーエッジ、
ナイロンチェーン製造販売



1 分科会 経営指針

報告者 清水勲業(株)
代表取締役社長 土屋 洋二 氏(札幌)



会社概要
【設立】1947年
【資本金】4,000万円
【従業員数】24名
【業種】電気機器、電設
資材の卸販売

会社は変わる

社員の共感を得る経営指針づくり

21世紀に活躍できる企業になるためには、「経営指針の作成と同時にその浸透さが大事だ」と語る土屋社長。経営指針づくりをすすめるにあたって、幹部社員と一緒に考えて、作成していきました。社員を巻き込んだ経営指針の理解を深める勉強会を通して、経営理念が社内のすみずみまで広がる社風づくりに取り組んでいます。

5 分科会 産学連携

報告者(株)植松電機
専務取締役 植松 努 氏(赤平)



会社概要
【設立】1999年
【資本金】1,000万円
【従業員数】12名
【業種】電気機械製造

飛べ、ロケット！ みんなの夢をのせて

Uターン後継者のワクワク仕事づくり、会社づくり

植松さんは、三菱重工の系列企業での飛行機設計を経て、実家である同社へ。その経験を活かし、建設機械用電磁石を開発する。大学や研究機関に足しげく通う中、小型ロケット開発が頓挫しかけていることを知り、協力を申し出、夢のロケット開発が始まった。小さな町工場の新しい仕事づくり、働き甲斐のある会社づくりの実践報告です。

6 分科会 後継者問題

報告者(株)菅製作所
代表取締役会長 菅 鉄夫 氏(函館)



会社概要
【設立】1946年
【資本金】3,400万円
【従業員数】20名
【業種】船舶用クラッチ、
動力伝動装置、研究用真空
装置などの設計製作

私の後継者づくり40年計画 息子と交わした「事業継承覚書」

(株)菅製作所は1946年に漁船のエンジン修理業として創業。船舶用クラッチで道内6割のシェアを占める。1994年に産学官連携で研究開発用真空装置を開発。現在は、次世代表示装置の研究用真空機器製造などニッチ分野のトップをめざす。父である創業社長の急逝により、菅会長が事業を継いだのが18歳。どのような経過の中で、3代目の菅正社長に事業を引き継いだのか。経営者歴50年の菅会長が、中小企業の泥くさい本音の事業継承実践を問題提起します。

7 分科会 女性経営者

報告者(株)はしもと
代表取締役会長 橋本 央子 氏(札幌)



会社概要
【設立】1967年
【資本金】1,000万円
【従業員数】150名
【業種】めん類卸売業、
飲食業

女性の元気が豊かな社会を 創る

安心・安全・おいしさに心を込めて

橋本さんは亡きご主人と共に様々な企業努力を重ねて来ましたが、「ごまそは鶴喜」は、1967年の開店以来添加物を一切使用しない店として、10店舗を繁盛店に育て上げました。全国女性部連絡協議会の役員でもある橋本さんは、働く女性が直面する子育てや介護の問題、食の問題など、女性経営者ならではの視点でこれからも学び合いたいと熱く語ります。

8 分科会 ビジネスモデル

報告者(株)桐光クリエティブ
代表取締役社長 吉田 聡子 氏(札幌)



会社概要
【設立】1979年
【資本金】1,000万円
【従業員数】10名
【業種】TV番組、企業・
行政のPRビデオ、CM
などの企画制作

ご存知ですか？

『これきてドットコム』 (<http://collekit.com/>)

観光情報発信の新しいカタチ

北海道に来る観光客が悩むのは、何といっても「服装」。吉田社長は観光客の潜在的なニーズを捉え、北海道人が今着ている服装をネットで発信する「これきてドットコム」を運営し、アクセス殺到でサーバーがダウンする程の人気を誇っています。人気サイトはいかにして生まれたのか。情報発信の可能性についてお話し戴きます。

12 分科会 (定員25名) ものづくり (企業見学会)

報告者(株)柳月
代表取締役 田村 昇 氏(音更)



会社概要
【設立】1947年
【資本金】15,000万円
【従業員数】526名
【業種】菓子製造販売

お菓子で笑顔を届けたい

感動を与える企業づくり

売上より、企業理念達成のために、美味しく、価値のある価格のお菓子を追及している同社。どうすれば世の中に貢献していけるのかを常に問い続け、お客さまのつばやきに耳を傾ける努力を惜しまない社員たち。北海道、十勝を代表する企業の取り組みを報告します。

13 分科会 (定員25名) ものづくり (企業見学会)

報告者(株)山本忠信商店
代表取締役社長 山本 英明 氏(音更)



会社概要
【設立】1960年
【資本金】2,000万円
【従業員数】53名
【業種】雑穀精撰移業、
有機栽培農産物販売

農業と中小企業の連携による 新市場開拓

品質第一を貫き急成長

穀物をめぐる情勢は、「相場商品から安全・安心へ」と市場の商品が大きく転換している。創業以来「品質第一」の姿勢を貫き、「生産者限定」商品の販売、メーカーと生産者との連携を促進し新商品の開発を行うなど、新たな市場作りに取り組んでいる。トレーサビリティ(生産履歴追跡)を新たな付加価値として先き取りしてきた。

14 分科会 (定員25名) ものづくり (企業見学会)

報告者 東洋農機(株)
代表取締役社長 渡辺 純夫 氏(帯広)



会社概要
【設立】1967年
【資本金】8,000万円
【従業員数】146名
【業種】農業用機械器具
の製造・販売・修理

命令管理から自主管理へ

経営革新運動で会社はこう変わった

「経営革新運動」とめぐり合い、合併当時の苦労や、様々なトラブルも「改革」を実践することにより、乗り越えました。毎年実施される経営革新の基本方針作り「多階層ミーティング」を通して社員のベクトルを合わせながら、同時に積極的に社員からの提案を取り入れるなどの取り組みを行っています。

15 分科会 (定員25名) 環境問題 (企業見学会)

報告者(株)アース技研
専務取締役 長田 正宏 氏(帯広)



会社概要
【設立】1967年
【資本金】2,500万円
【従業員数】13名
【業種】飼料、肥料の製造
及び販売

環境改善に微生物を利用

地球にやさしい持続的社会的創生

測量業から始まった(株)ズコーシャが総合建設コンサルタントに変わった過程で、約30年前から環境調査、分析、研究、コンサルティングを始めた。関連会社のアース技研は家畜の環境改善に土壌微生物「アースジェネター」(商品名)を開発し、全国トップ企業を目指しています。食の安全、地球環境の改善をテーマとして躍進を続ける企業風土作りから学んで参ります。

2 分科会

社員“ 共育 ”

報告者 丸成鈴木建業(株)
代表取締役 石森 将敬氏(札路)



会社概要
【設立】1985年
【資本金】1,000万円
【従業員数】100名
【業種】建築、土木、舗装

社員が主役の会社をつくる

熱血社長が語る人育て奮闘記

石森氏は2年前に社長に就任した42歳の青年経営者。血気盛んな社員と格闘しながら組織作りを行ってきました。「どうしたら、社員を育てることができるのだろうか」と苦悩の日々の中で、同友会の共同求人、社員“共育”活動に熱心に取り組んだ結果、現在では型枠大工の仕事に優秀な生徒が応募する人気企業になりました。「あらくれた社員との格闘を通して、一番成長したのはおれ自身だ」と語る、心温まる人間ドラマの報告です。

報告者 (株)伊藤塗工部
専務取締役 伊藤 雅彦氏(札幌)



会社概要
【設立】1918年
【資本金】16,000万円
【従業員数】60名
【業種】塗装工事、防水工事、壁画アート、色彩設計

社員共育は経営者育ちから

人間として成長する喜びを共有するために

1996年に同友会大学を卒業。当時、取締役営業部長で41歳。学ぶ楽しさと成長する喜びを実感する。その喜びを共有したいと、社員に働きかけ、これまで本人含め5人が同友会大学を卒業。学ぶ社風作り而努力してこられた体験を語る。

3 分科会

事業転換

報告者 グリーンテックス(株)
代表取締役 佐藤 一彦氏(旭川)



会社概要
【設立】1973年
【資本金】1,000万円
【従業員数】10名
【業種】緑化工事業

命がけの事業転換

スクラップ業界から緑化工事業へ、そして土壌診断技術を全国へ

スクラップ相場暴落で大赤字、意を決し未経験の緑化工事業に事業転換。「二兎を追う者一兎をも得ず」を知りつつも、甘い決断で金融機関の貸しはがしの地獄をみる。未知の業界で、失敗を繰り返しながら本物の緑化を求め続け、火山灰地でも植物が順調に育つ自社で独自開発した「G・T・E・X植生土壌診断法」が国土交通省新技術として登録される。

4 分科会

店づくり

報告者 (株)金剛園
代表取締役社長 須藤 精作氏(苫小牧)



会社概要
【設立】1980年
【資本金】1,000万円
【従業員数】160名
【業種】焼肉レストラン、豚どんかつ専門店

みんなのおいしい顔が

みたくら

お客様から支持される店の条件

苫小牧市内に展開する焼肉『金剛園』は人口17万人の都市で、年間36万人が来店する繁盛店。経営理念は、『みんなのうれしい顔がみたくら』。「お客様に支持される店づくりは徹底した人材育成から」をモットーに、地場産食材の使用、地元障害者雇用も積極的に行う地域密着型のフードサービスについてお話しします。

9 分科会

観光

報告者 (株)知床グランドホテル
代表取締役社長 桑島 繁行氏(ウトロ)



会社概要
【設立】1962年
【資本金】17,700万円
【従業員数】85名
【業種】政府登録国際観光旅館、日観連会員、日本交通公社・日本旅行・近畿日本ツーリスト他協定



世界自然遺産「知床」から考える北海道観光のあり方

今年の7月に世界自然遺産に登録された「知床」。豊かな自然を湛え、その美しさは目を見張るものがあります。従来の周遊型から、自然をゆっくりと楽しむ体験・滞在型観光への転換と、自然環境の保全を図りながら持続可能な観光産業の振興を図るための今後の取り組みを報告します。

報告者 特定非営利活動法人知床ナチュラリスト協会
代表理事 藤崎 達也氏(ウトロ)



会社概要
【設立】1998年
【従業員数】5名
【業種】ネイチャーガイド業

10 分科会

地域づくり

報告者 (株)宮原組
代表取締役 宮原 文憲氏(厚岸)



会社概要
【設立】1958年
【資本金】4,000万円
【従業員数】25名
【業種】港湾土木・舗装

共に育ちあう企業づくり

歴史を学んで誇りが蘇った

「俺たちは厚岸に住んでいることに誇りをもっているのか。町を愛しているのか」。幹事会で繰り上げられた論議から誕生した厚岸歴史講座。10講で延べ648名の町民が参加するなど、大きな反響が町内に湧き上がった。町も会場を無料で提供するなど同友会を全面的にバックアップ。講師には大工、漁師、住職など厚岸町の歴史を作ってきた古老が手弁当でかけつけた。設立二年目の地区会が挑んだ歴史を通した街づくりの試みを報告します。

11 分科会

中小企業憲章

報告者 東京都墨田区地域振興部
商工担当産業経済課
課長 高野 祐次氏



日本一の中小企業施策の街、墨田区に学ぶ

中小企業振興基本条例の精神がどのように生かされているか

墨田区の商工行政の原点は1979年に制定した中小企業振興基本条例であり、当時の区職員180人を動員して行った製造業等全事業所の実態調査である。以降、条例の精神を実現するため産業白書や工業振興マスタープランを策定し、具体的な施策を展開している。墨田区の産業活性化は、行政が現場主義を貫き、産業人が運動として参加し、地域全体が新たな起業を受け入れる風土づくりにある。

16 分科会

十勝経済

厳しい地域経済の中で、十勝地域の底固さが目立ちます。粗生産高2,500億円という農業を基盤にした十勝経済がどのように形成され、さらなる付加価値化のための課題とは何か、食と農を機軸とした自立型経済圏構築の展望を検討してまいります。

基調報告

十勝経済の現状とフードシステム構築に向けて

帯広畜産大学
教授 伊藤 繁 氏



ディスカッション
十勝経済を支える農業の付加価値化と今後の展望

帯広畜産大学
教授 伊藤 繁 氏(農業経済学)

北海道
副知事 麻田 信二 氏



(有)北海道ホープランド
社長 妹尾 英美 氏
(幕別町 畑作)



コーディネーター
生活協同組合コープ十勝
専務理事 山口 敏文 氏



スケジュール

21日(金)

- 1, 受付 12:45
- 2, 全体会議 13:45 ~ 14:15
- 3, 移動
- 4, 分科会 14:30 ~ 18:30
- 5, 移動
- 6, 懇親会 19:00 ~ 20:30

22日(土)

- 1, 記念講演 9:15
- 2, 全体会議(報告等) 11:15
- 3, 終了 12:00

オプション
企画1

全道親睦ゴルフ大会

とき 10月22日(土)
正午12時スタート! (参加人数で時間が変更になる
場合もあります)

プレー代 8,900円

ところ 帯広国際カントリークラブ
幕別町千住427 電話0155-56-3225

参加費 3,000円(景品代等)
昼食におにぎりを用意いたします。

オプション
企画2

『池田ワイン城と十勝牛』昼食会 池田地区会の皆さんが**熱烈歓迎!**

2005年4月にリニューアルオープンして、入場者が激増している池田町ワイン城。二日間、しっかり学んだ後は、ワイン城で十勝牛とワインを堪能しながら、わが町を熱く語る池田地区会の皆さんと交流会を開催します。

とき 10月22日(土) 参加費 4,000円(ワイン、昼食代として)
13時~15時 ワイン城見学と試飲を行います。

ところ 池田ワイン城(池田町字清見83-3 ☎01557-2-2467)
とかちプラザ前からバスが出ます。(12時15分)
帰りは池田ワイン城よりバスが出ます(15時 帯広駅到着15時45分)



参加申し込み方法

お申し込みは下記事務所へFAXかメールにてお申し込みください。

- 札幌本部 / 電話011-611-3411 FAX011-611-9573
information@hokkaido.doyu.jp
- 東北道センター / 電話0155-22-3611 FAX0155-22-3612
doyukai@netbeet.ne.jp
- 旭川センター / 電話0166-38-6663 FAX0166-38-6664
asahikawa@hokkaido.doyu.jp
- 釧根事務所 / 電話0154-31-0923 FAX0154-31-0944
kushiro@hokkaido.doyu.jp
- オホーツク事務所 / 電話0157-23-4110 FAX0157-23-4130
okhotsk@hokkaido.doyu.jp
- 苫小牧事務所 / 電話0144-36-9080 FAX0144-36-9666
tomakomai@hokkaido.doyu.jp
- しりべし・小樽事務所 / 電話0134-25-9191 FAX0134-25-0765
otaru@hokkaido.doyu.jp
- 函館センター / 電話0138-51-8800 FAX0138-51-2341
hakodate@hokkaido.doyu.jp

第1次〆切 9月30日(金)
参加費は後日請求させていただきます。 10月17日以降のキャンセルは全額を申し受けます。



第24回全道経営者“ 共有 ”研究集会参加申込書

参加者名	役職	希望分科会		オプション企画	
		第一希望	第二希望	池田地区会との昼食会	全道親睦ゴルフ大会
				参加 不参加	参加 OCR() 不参加
				参加 不参加	参加 OCR() 不参加
				参加 不参加	参加 OCR() 不参加

会社名	担当者名	電話
-----	------	----